

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

評価の実施時期 2022年2月

公表の実施時期 2022年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	テーブル、活動、読書それぞれに十分な広さがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	適切である。なにかあった場合にも対応できる人数を配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	トイレに段差があるが手すり・設備に配慮している。今後はより子供に適した椅子の配置を予定している。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのP D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	毎日の朝礼・終礼での社員間での話し合いで次に繋げている。 内部研修で職員全員で意見交換して改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	0	評価表や実際の声から意見をいただき、会議にて改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	0	ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	地域の方からの意見を参考にしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	月に一度内部研修を行っている。外部研修にも積極的に参加している。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	保護者様からの要望等を聞き取り分析し、目標に向かって計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4	0	利用者の特性に合わせてアセスメントツールを通し支援の工夫を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	毎日の職員間の会議でプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	生活療育をメインに支援しているため日々の繰り返しが多いが、新しい支援方法も工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	長期休暇でしか行えないプログラムを取り入れ支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	特性に合わせた個別の支援の他に集団でのおやつ、避難訓練、外療育なども取り入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	朝礼では前日の振り返りから始まり、当日の流れの支援を確認している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	終礼では職員間でその日の問題点を振り返り、共有している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	毎日記録を正確に取り、改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	5・6ヶ月に1回モニタリングを行い個別支援計画作成している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	2	0	将来に向けて地道な支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0	コロナ禍の影響で本年度は実施されていない。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	学級だよりにて全職員が確認できるようになっている。送迎時に学校・放課後クラブとの連携があるが、少ないと感じてる。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	1	医療ケアの利用者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1	就学支援シートでの情報をいただいている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	1	移行する利用者はいたが、移行先から情報を求められていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	オンラインでの研修に積極的に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	3	コロナの影響で機会は減っているが公園や図書館を利用している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	1	コロナ禍でなかなか参加できていない。（江戸川区放課後連絡会、全国発達支援協議会）
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	連絡帳や送迎時を中心に電話やLINE等でもこまめな情報交換を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	0	ペアレントトレーニングの外部研修を受けて、取り組もうとしているが、コロナ禍のためなかなかできていない。
保護者への説明	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に丁寧に行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	相談窓口を通して、助言や支援を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	5	1	企画は2年前からしているが、コロナ禍のため実施できていない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	相談窓口・苦情対策委員会を設置しており、迅速に対応できるようになっている。防犯カメラも1台追加し、有事の際は保護者様に説明のためお見せしている。

責 任 等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2	0	活動や様子が分かるように週に1度ブログで写真を更新している。おたよりは年に数回出している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	鍵付きのロッカーで保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	文字盤・絵カードを活用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	0	季節ごとに地域の方を呼び、パネルシアターなど開催してもらっている。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	緊急時・防犯マニュアルは年度初めに保護者へ通達しているが、感染症マニュアルは今後の課題。職員は周知できている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	月に一度のペースで避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	意識を高めるため毎月虐待防止チェックリストと研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	保護者の方には個別支援計画作成時に説明を行い記載している。職員にも定期的に確認を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	保護者様からの情報に基づきアレルギーカードを作成し、個別に対応している。おやつに活用している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	小さなことでもヒヤリハットの作成を心掛け、全職員が共有している。